

# 奨励賞 (順不同)



撮影:河野博之

## 筑紫野の家 現代の『田の字形住宅』

所在地:筑紫野市

建築主 個人  
設計者 創新設計 上塘 洋一  
施工者 株式会社岩堀工務店 代表取締役 岩堀 博隆  
建築物の用途 専用住宅  
構造・規模(階数) 木造・地上2階

**設計趣旨** 設計者も施主も木が大好きである。木に囲まれた空間にいると心身が癒やされ気持ちが落ち着く。伝統的な大工の技術と左官の技術と材料を利用して木の特性を最大限活かした住宅とした。木材は、矢部産の樹齢80年の杉材を地元の木材会社から入手した。また、夫婦が助け合い一生住み続けられると同時に、世代が変わっても永く住み続けられる住まいを目指した。家を作るには、その土地で育った木を使用することが大切であると考えた。



## Renosmile『木箱Imaizumi』

所在地:福岡市中央区

建築主 ふくろう不動産販売株式会社 代表取締役 福添 建一  
設計者 福岡中小建設業協同組合  
施工者 福岡中小建設業協同組合  
建築物の用途 集合住宅  
構造・規模(階数) 鉄骨鉄筋コンクリート造

**設計趣旨** 現在流通している新建材で覆われたマンション空間に無垢材や自然素材を使用し、調湿や空気清浄効果で呼吸する空間、体に優しい空間を提供する。SRCのマンションを感じさせないように既存のSRCの梁型を隠し、活かすよう木仕上げや間接照明を施した。収納には調湿効果を考え内装仕上げを木質化した。木材は耳納杉産直ネットワークにより耳納杉を使用した。

## 親月木居(しんげつもくきよ)

所在地:北九州市小倉北区

建築主 個人  
設計者 俵雅人建築研究所一級建築士事務所 俵 雅人  
施工者 上浜工務店 上浜 正裕  
建築物の用途 専用住宅  
構造・規模(階数) 木造・地上2階

**設計趣旨** 敷地と同じ気候条件の福岡県産の木を使うことを前提とし、使用した木材は、構造材、下地材、仕上材など全て地域産材である京築の杉と桧のみである。  
森林組合に協力していただき、昔ながらの「新月伐採、葉枯らし、自然乾燥」を行った。キッチンやテーブル、ベッド、本棚などの家具も全て地域産材の杉で製作した。



撮影:井生明

## 修多羅の家

所在地:北九州市若松区

建築主 個人  
設計者 アトリエ艸舎 鈴木 達郎・鈴木 美奈  
施工者 株式会社安成工務店 代表取締役 安成 信次  
建築物の用途 専用住宅  
構造・規模(階数) 木造・地上2階

**設計趣旨** 修多羅の家は、海に臨む山の中腹に立地することから、強い雨風や日射しを凌ぐために、大きな屋根を作ることのできる民家型構法が役に立った。  
大分・上津江の輪掛乾燥の杉を柱・梁に、徳島・木頭の葉枯らし天然乾燥の杉を床・天井・外壁に使用した。  
林業家と協力して、国産材を豊富に利用することを設計の基本として取り組んでいる。



## 東青葉保育園

所在地:福岡市東区

建築主 社会福祉法人若宮福祉会 理事長 渡 雅代  
設計者 株式会社匠建築研究所 代表取締役 原 啓介  
施工者 日建建設株式会社 代表取締役 金子 幸生  
建築物の用途 認可保育所  
構造・規模(階数) 木造・地上2階

**設計趣旨** 園児や職員が気持ちよく快適に過ごすことがなによりも重要な施設であるため、構造から内装までできる限り自然素材を利用することとし、材料・工法の選定を行った。構造材・内装材・下地材は全て九州産のものを用いて、地域材利用を意識した。また、材せいが大きいこと・金物を露出させない工法を用いたことで、材料加工に時間を要したが、外部・内部ともに木の表情が表れたあたたかみを感じる建物となった。

